



## まどか 便り

～共に優しく生きる～



令和3年10月吉日

寒さも次第につのり朝夕はめっきり冷え込むようになってまいりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。コロナウイルスの影響で外部での研修に参加することができませんが、インターネットを介してZOOM研修に参加しております。そこで、在宅看護には欠かせない皮膚トラブルに関する研修に参加しました。高齢になると乾燥、脆弱化により皮膚の亀裂や裂傷、褥瘡などさまざまな問題を抱えている利用者様に適切な看護を行えるようスキルアップに努めてまいります。

### 皮膚裂傷の応急処置方法



- ① 圧迫して止血します。生理食塩水を使用し（なければ水道水）で優しく洗いながします。
- ② 皮膚が剥離した場合、剥がさず元の位置に戻してください。
- ③ 元の位置に戻した後、皮膚接合テープを使用し貼用します。皮膚接合用テープがない場合、直接ガーゼを当てると、傷に固着してしまい剥がすときに再び皮膚がめくれたり、出血してしまうことがあります。  
ドラッグストアで白色ワセリンと非固着性



ガーゼを購入し包帯で固定します。処置後は、早めに主治医に報告しその後の指示を仰ぎます。

#### 皮膚接合用テープを使用する際の注意点

- ・ 関節部位付近に裂傷があり皮弁固定のために皮膚接合用テープを用いると皮膚の可動に伴いテープ部に緊張が加わるため避ける。
- ・ 皮弁固定に皮膚接合用テープを用いるときは、テープによる裂傷の発生リスクがあることを理解しておく。特にテープが浮き自然に剥がれるまで剥離は避ける。
- ・ 皮弁固定に皮膚接合用テープを使用する際は、テープ間の隙間をあけて貼用する。ただし、紫斑部位に貼付は避ける。

#### 研修を受けて

今回の研修で、皮膚の裂傷をした場合のドレッシング材の選択や褥瘡が生じた際の必要な処置について学ぶ機会となりました。裂傷した際の皮膚は、剥がすのではなく、皮弁をもとの位置に戻すことで皮膚の再生が早いことが分かりました。ドレッシング材を貼用した際、テープを剥がす方向などを記載し、貼用した人以外が剥がす際にわかりやすいようにしておくなど、研修を通してスタッフ間で共有することが大切だと学びました。

今後、訪問していく中で皮膚トラブルは多いと思いますので、学んだことを生かして実践していきたいと思います。